

飯野地区地域づくり協議会だより

■令和8年1月1日 第16号

■発行：飯野地区地域づくり協議会

〒513-0808 鈴鹿市西條町 463 番地（飯野公民館内）

☎059-390-3836 FAX059-390-3836



飯野地区地域づくり協議会会長あいさつ 南條 隆

謹賀新年。皆様におかれましては、心新たに良き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また旧年中は当協議会の諸活動にご支援ご協力をいただき有難うございました。

協議会活動の原点は、「この街に住んで良かった」と思える活動を実践することです。

その為には、一人ひとりが社会から取り残されることなく、すべての人に居場所があり活動を通じて自分らしく光り輝くことです。11月の公民館祭に合わせて餅つきを行いました。子供の虐待が叫ばれる中、子供の健やかな成長と幸せを願わない親はいません。我が子の餅をつく姿を写真に撮る親の姿こそ私たちの活動の原点なのです。防災も消火訓練だけが活動ではありません。「心の防災」不幸にして災禍に遭われても、再び立ち上がれるよう、近隣の皆様が被災者に対して激励の行動が取れることが大事だと思っています。当協議会は、皆様の心の支えとなる活動を本年も精一杯展開してまいります。



コスモス案山子まつり

秋の飯野公民館祭



ふくふくまつり



夏の消防訓練の様子



活動報告 7月～12月



赤ちゃんサロン



井戸端カフェ

～地域づくり研修生の想い～ 地域づくり協議会の活動に参加して

地域づくり研修生とは

地域づくり協議会による地域づくり活動を知ることで、地域づくりの難しさや協働の必要性を学び、行政職員としての関わり方を考えるきっかけとするため、入庁 6-8 年目の若手職員を地域づくり研修生と位置付け、各地域づくり協議会に配置しています。

今号では、研修生が飯野地区の地域づくり活動に携わって感じたことや課題など率直な意見を掲載させていただきました。今後の活動のヒントにしたいと思います。

研修生 Y (1 年目)

今年度は役員会や環境部委員会に参加させていただきました。会議では毎回活発な議論が行われています。

各地域で出た意見や現状が共有され、提案や課題が次々と出てくる様子から、皆様の飯野地区に対する希望や期待感などの熱い想いを感じ、非常に勉強になりました。

私も「みんなが笑顔で暮らすまち 飯野（飯野地区地域づくり協議会 第 2 期地域計画“飯野地域の将来像”）」を目指し、地域づくり活動に取り組んでいきたいと思っています。



研修生 I (1 年目)

去年から飯野地区市民センターの勤務となり、今年度から地域づくり研修生として地域づくりのお手伝いをさせていただいています。

飯野地区は季節ごとの行事が盛んで、住民の皆さんの参加意欲の高い地域だと感じます。その一方で、現役世代やより若い世代の関わり方をどう広げていくかが今後の課題だと思います。

地域づくり研修生として、行事や交流を通して、世代を超えた関わりを持てるような場所を作るきっかけを見つけていきたいです。



研修生 H (3 年目)

飯野地区は 4 つの小学校区と 3 つの中学校区が絡む非常に広い地区であることから、住民ニーズや課題が多岐にわたっています。それらのニーズに応え課題を解決するために、定期総会や役員会などの会議の場では、たくさんの意見が出され非常に熱心な議論が行われているのを見て、地域を良くしたいという熱い思いが伝わってきました。

また、金生水沼沢植物群落や沢城址、コスモス・案山子まつりなど、飯野地区にしかない見どころがたくさんありますので、散歩しながら見て回るのもおもしろいと思いました。

